

2020年度 事業計画書

(自 2020年6月1日 ~ 至 2021年5月31日)

公益社団法人

日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟は、日本国内のボブスレー・リュージュ・スケルトンの各競技を統括し、代表する団体として、定款に掲げる目的を達成するため、以下の事業を計画実施する。

1. 競技普及振興活動

(1) そり競技体験会事業

小中学生を対象としたそり競技体験会を、傘下の道府県連盟で例年実施しているが、今年度は新型コロナウイルスの国内感染状況を踏まえ、開催時期を遅らせ、規模も縮小して継続し、小中学生に楽しみながらそり競技の魅力を体感してもらい、参加者はもとより、家族、友人、学校関係者のそり競技認知度を拡大していく。

行事名称	開催地	会場	開催予定時期	目標(人)
プラスチックそり大会(芝生)	宮城	太陽の村	未定	50
大阪リレーマラソンそり競技体験会	大阪	大阪市内	12月初旬	50
リュージュ体験教室	北海道	藤野競技場	2021/1/29	30
FU'S スケルトン体験教室	北海道	札幌市内	2021/1/31	50
FU'S 札幌市民スケルトン大会	北海道	札幌市内	2021/2/11	50
スケルトン前道大会	北海道	大通公園	2021/2/21-23	100
ボブスレー体験教室	北海道	温根湯温泉	2021/3/13-14	100

(2) 選手発掘事業

本年度から強化部に発掘育成グループを設け、将来オリンピックメダリストになり得る、抜きんできた才能をもつジュニア選手を新たに発掘し、ボブスレーとスケルトンは8年、リュージュは15年の長期計画に沿って育成する。

不特定多数の選手を対象とした従来の発掘会(トライアウト)ではなく、今年度からは、事前調査で対象者を絞り込み、JSC、学校、企業と連携して新たな選手を発掘する。

行事名称	開催地	会場	開催予定時期	目標(人)
第1回 選手発掘測定会(リュージュ)	未定	未定	未定	10
第2回 選手発掘測定会(ボブ・スケ)	未定	未定	未定	20
第3回 選手発掘測定会(ボブ・スケ)	未定	未定	未定	20
第4回 選手発掘測定会(リュージュ)	未定	未定	未定	10
第1回 育成合宿(ボブ)	長野	長野スパイラル	2020/9/11-13	2
第2回 育成合宿(リュージュ)	長野	長野スパイラル	2020/9/18-20	2
第5回 選手発掘測定会(ボブ・スケ)	未定	未定	2020/9/20	20
第6回 選手発掘測定会(ボブ・スケ)	未定	未定	2020/9/27	20
第3回 育成合宿(スケルトン)	長野	長野スパイラル	2020/10/2-4	3
第4回 育成合宿(ボブ)	長野	長野スパイラル	2020/10/9-11	4
第7回 選手発掘測定会(ボブ・スケ)	未定	未定	2020/10/18	20
第8回 選手発掘測定会(ボブ・スケ)	未定	未定	2020/10/25	20
第5回 育成合宿(ボブ)	長野	長野スパイラル	2020/11/6-8	6
第6回 育成合宿(リュージュ)	海外	未定	2020/11/13-29	2
第7回 育成合宿(ボブ)	海外	未定	2020/12/8-29	6
第8回 育成合宿(スケルトン)	海外	未定	2020/12/8-29	3
第9回 育成合宿(ボブ)	海外	未定	2021/1/18-2/10	6
第10回 育成合宿(スケルトン)	宮城	仙台大学	2021/3/19-21	3

(3) 国際大会・全国大会事業

長野市ボブスレー・リュージュパーク(通称スパイラル)の冬季製氷休止に伴い、日本連盟が運営する冬季大会は今年度も休止とする。

夏季に開催するボブスレー及びスケルトンの全日本ブッシュ選手権大会は、新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、9月以降への延期も視野に開催し、実践の場を通じた各選手の競技力強化及びボブスレー、スケルトンの振興普及を図る。

行事名称	開催地	会場	開催予定時期	参加(人)
2020 全日本ブッシュスケルトン選手権大会	長野	スパイラル	未定	30
2020 全日本ブッシュボブスレー選手権大会	長野	スパイラル	未定	20

(4) 審判資格者育成事業

審判員資格の取得は、大会運営に必要不可欠な競技役員の確保のみならず、選手やコーチの活動における基礎知識の取得にもつながることから、競技委員会や加盟団体と連携して研修会・講習会を開催し、本連盟公認の審判資格取得試験を行う。また取得者には審判員カードを発行し、連盟主催の大会への参加を要請する。

研修会・講習会では国際審判員資格取得者が講師を行う。尚、競技普及の一助となるよう、参加料・受験料はすべて無料としている。

行事名称	開催地	会場	開催時期	(人)
審判員クリニック、審判員研修会、ルール講習会	長野	スパイラル	未定	10

(5) 長野スパイラル利用拡大推進事業

長野スパイラルの冬季製氷休止に伴い活動休止。

(6) 広報・ファンドレイジング活動事業

- ・JBLSF ホームページでの情報発信
- ・SNS を活用した国内外の人脈づくり
- ・そり競技ファンを増やす新たな取組み検討

2. 競技者強化と指導者養成活動

(1) 強化事業

-1. ボブスレー

JOC 競技力向上事業で対象選手の強化事業を実施する。

行事名称	開催地	会場	開催予定時期	選手(人)
国内合宿	未定	未定	未定	1
海外合宿	未定	未定	未定	1

-2. リュージュ

国際リュージュ連盟(FIL)支援プログラムを活用して、強豪国米国とパートナーシップを締結し、JOC 競技力向上事業で対象選手の強化事業を実施する。

行事名称	開催地	会場	開催予定時期	選手(人)
国内合宿	未定	未定	未定	1
海外合宿	未定	未定	未定	1

-3. スケルトン

JSC 次世代ターゲットスポーツの支援委託事業で選定したジュニア選手を対象に、世界トップの身体能力や技術を目指し、スタートタイムに特化した強化事業を実施する。

行事名称	開催地	会場	開催予定時期	選手(人)
国内合宿	未定	未定	未定	4
海外合宿	未定	未定	未定	4

(2) 海外遠征・国際レース参戦事業

本年度は発掘育成事業を軸にし、中長期計画を新たに策定して将来のオリンピックメダリスト候補選手育成に特化するため、今年度は当事業を休止する。

(3) 指導者養成事業

資格を有した指導者の育成と継続的なコーチング技術の研鑽が、ソリ競技の発展の源となると考え、以下の事業を実施する。

- ・専門科目講習会の実施と事前準備 ※新型コロナウイルス状況を踏まえて実施を判断
- ・公認コーチ取得希望者への案内、日本スポーツ協会への申請と報告

行事名称	開催地	会場	開催予定時期	目標(人)
JSPPO 公認コーチ3 資格取得講習会	未定	未定	未定	4

(4) 長野スパイラルそり競技調査研究事業

長野スパイラルの冬季製氷休止に伴い、スパイラル機材を活用した同事業は休止する。

(5) 医科学サポート推進事業

JOC が掲げる「人間力なくして競技力向上なし」の体現を目指し、3 競技の強化後方支援として、競技力向上に繋がる選手教育や医・科学サポート活動、その研究支援などを行う。また、人間力の向上を目指し、インテグリティ教育の推進を担う。なお、コーチの資質能力向上や指導力向上に繋がる医・科学情報の提供も念頭に入れ、活動に従事する。これらの活動に関しては、3 競技の強化方針ならびに計画に基づいた連携のもと、計画的に行なわれるものであり、医・科学部単独で行うものではない。

以下に計画するプログラムにおける選手参加状況について、モニタリングしていくこととする。

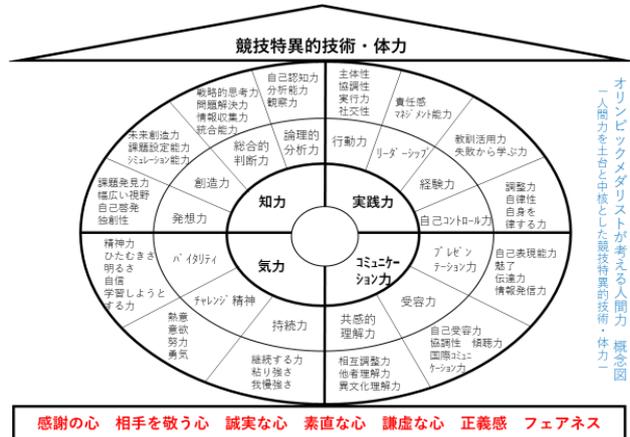
2020年 医・科学サポート、ならびにインテグリティ教育計画													
【方針】 JOCが掲げる「人間力なくして競技力向上なし」の体現を目指し、3競技の強化後方支援として、競技力向上に繋がる選手教育や医・科学サポート活動、その研究などを行う。また、人間力の向上を目指し、インテグリティ教育の推進を担う。なお、コーチの資質能力向上や指導力向上に繋がる医・科学情報の提供にも尽力する。これら活動に関しては、3競技の強化方針ならびに計画に基づいた連携のもと、計画的に行われるものであり、医・科学部単独で行うものではない。													
スケジュール	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
	発掘・育成強化 ※各競技強化部からの依頼に応じ対応				各競技別AD 研修		3競技派遣前 集合研修	各競技強化部からの依頼に応じ対応					
人間力教育													
JBLSFが考える人間力									●				
JOC人間力教材研修	●※レポート							●					
JOCインテグリティ教材研修（リスク管理、SNS等）													
JOCアスリートアプリ	通期で継続研鑽実施												
AD教育													
集合教育 基礎編					●								
遠隔教育 応用編							●						
e-learning 受講について							●						
遠征時使用可能薬リスト更新、周知							●				●		
遠征時の常備薬マネジメント、使用可否確認							●		各強化部からの依頼に応じ、都度対応				
医・科学													
パフォーマンスサポート	各競技強化部からの依頼に応じ、都度対応 ※小口委員より、スケルトン次世代ターゲットのパフォーマンス分析対応予定												
遠征時トレーナー帯同	各競技強化部からの依頼に応じ、都度対応 ※ボブスレー トレーナー2名（岡田・馬郷）派遣												
遠征時管理栄養士調理サポート	各競技強化部からの依頼に応じ、都度対応 ※スケルトン、次世代ターゲット管理栄養士1名（雨宮）派遣検討												
コンディショニング全般のサポート	各競技強化部からの依頼に応じ、都度対応 ※コンディショニング管理アプリ One Tap conditioning 導入検討												
派遣前問診票							●						
スポーツ栄養教育							●						
メンタル教育（目標設定と主体性）筑波大門開助教							●						
メンタル教育（パフォーマンスと精神状態）筑波大門開助教							●						
競技力向上に繋がる研究	各競技強化部からの依頼に応じ、都度対応												

インテグリティ推進の核となる人間力について、JBLSF として以下の図のように定め、これに基づき、上記年次計画における選手教育を推進する。

JBLSFとして重要と定義する人間力の構成概念

- ① 恩を感じる心
 - ② 恩に報いる心
 - ③ 相手を敬う心
 - ④ 素直で誠実な心
 - ⑤ 謙虚な心
 - ⑥ 公正な心
- 感謝**
- フェアネス**

JBLSFは、オリンピックメダリストが考える人間力の概念図を基に、その最も礎と位置付けられる心を重視し、「感謝」と「フェアネス」に富み、競技力の高い選手の育成を掲げます。



※参考：JOC発行「Ring」vol.30-46 私の考える人間力とは、鳥取大学：人間力構成概念教育グランドデザイン、内閣府：平成15年人間力開発研究会報告書

以上